

### 急性期診療棟新設 23年8月開院予定

#### 産業医科大病院

産業医科大病院（八幡西区）に、急患や重症な病気に対応する「急性期診療棟」が建設されることになり、25日、現地で工事の安全祈願祭があった。2023年8月に開院予定。

急性期診療棟は、鉄筋コンクリート5階建てで、延べ床面積約2万2千平方メートル。病床は約200床あり、17の手術室のほか、感染症



急性期診療棟の完成予想図。大学病院とは渡り廊下でつながる  
(産業医科大病院提供)

対策としてウェブカメラを使った面会室などを設置する。総事業費は約200億円。

安全祈願祭には、市や病院関係者ら約40人が出席。北橋健治市長が「新棟の設置が地域医療のさらなる発展につながる」とあいさつし、産業医科大の生田正之理事長は「コロナ対策を工夫した。急性期医療の中核を担いたい」と話した。

(野間あり葉)

(掲載について西日本新聞社許諾済、無断転載（コピー、スマートフォン等での撮影）禁止)